

平成 29 年 5 月 19 日  
海 上 保 安 庁

### 韓国の海洋調査船について

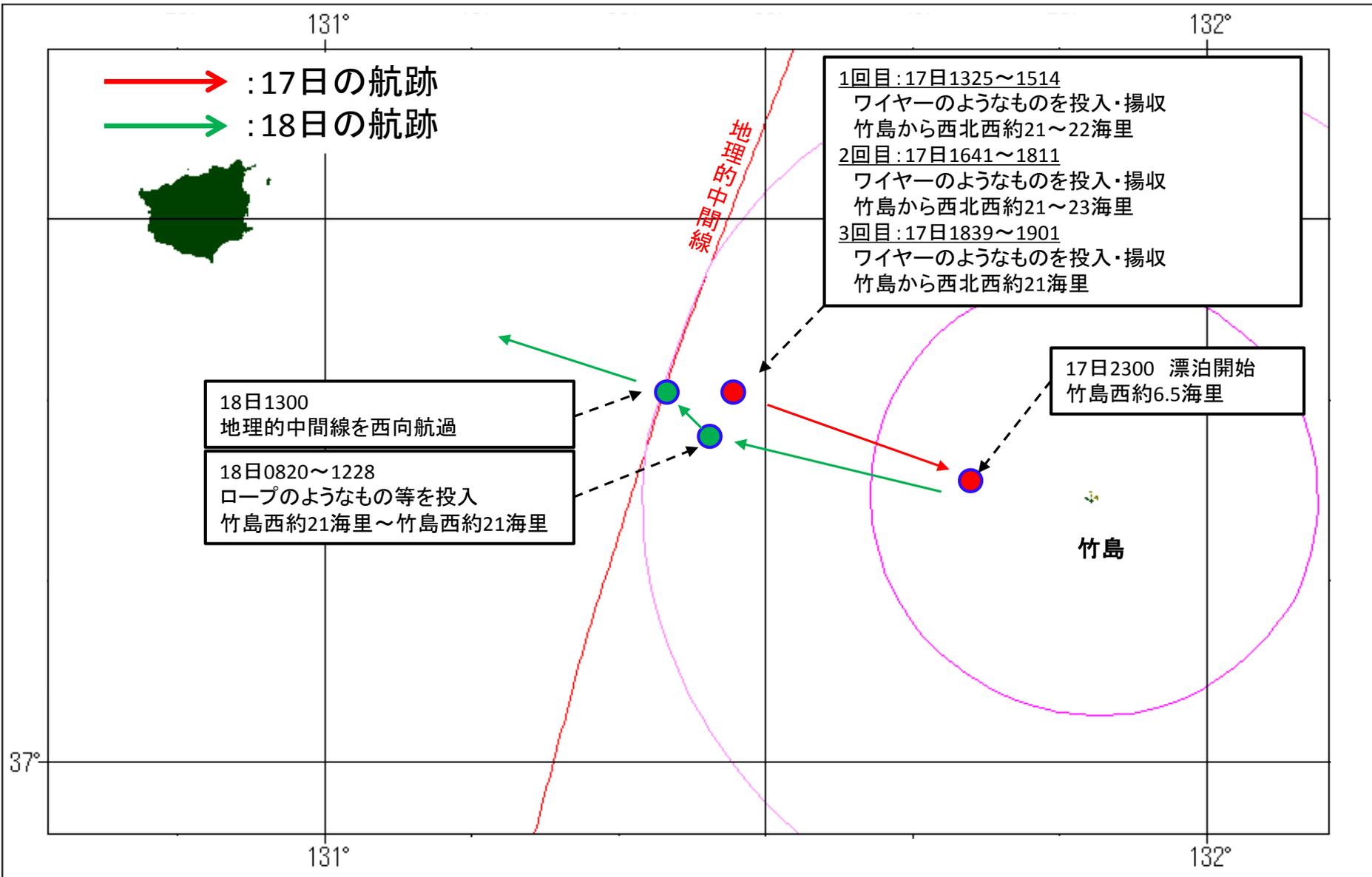
1. 船 名 H A E Y A N G (へ・ヤン) 2000  
(韓国籍、約 2,161 トン、89.2 メートル)
2. 所 属 韓国国立海洋調査院
3. 韓国海洋調査船の状況
  - ・ 17 日 13 時 25 分頃、「H A E Y A N G 2000」が、竹島の西（約 40 キロメートル）の我が国の排他的経済水域において、船尾右舷側ブームにより、ワイヤーのようなものを海中に投入しているところを確認。
  - ・ その後、該船はワイヤーのようなもの等の海中への投入を繰り返した。
  - ・ 18 日 13 時 00 分頃、該船は地理的中間線を韓国側へ航過した。
4. 対応状況等
  - ・ 「我が国の事前の同意なく、一方的に調査活動を行うことは認められない。調査の中止を求める。」旨繰り返し中止要求を実施。
  - ・ 外交ルートにおいても、「即時に中止すべき」と強く抗議を実施。



平成 29 年 5 月 17 日撮影



ワイヤーのようなもの



韓国国立海洋調査院所属の海洋調査船「Hae Yang 2000」による  
海洋調査活動

平成29年5月  
外務省

- ◆5月17日午後、竹島西方の我が国排他的経済水域（EEZ）において、韓国調査船「Hae Yang 2000」がワイヤーのようなものを海中に投入していることを確認した。なお、同船による海洋の科学的調査について、韓国側から我が国に対して、事前の同意の申請はなかった。
- ◆これを受け、外務省から韓国外交部及び在京韓国大使館に対し、我が国 EEZ において我が国の事前の同意なく海洋の科学的調査を実施しているのであれば受け入れられず、即時に中止すべきと強く抗議した。
- ◆さらに、17日夜、同調査船が竹島西方の我が国領海において漂泊していることを確認するとともに、18日朝、同調査船が竹島西方の我が国 EEZ においてロープのようなものを海中に投入していることを確認した。
- ◆これを受け、18日朝、杉山晋輔外務事務次官から李俊揆（イ・ジュンギョ）駐日韓国大使に対し、我が国領海における漂泊は受け入れられず、また、我が国 EEZ において我が国の事前の同意なく海洋の科学的調査を実施しているのであればそれも受け入れられない、即時に中止すべしと強く抗議した。これに対し、李俊揆大使から、本国に報告する旨の反応があった。
- ◆安倍総理大臣から、文喜相（ムン・ヒサン）大統領特使一行に対し、日韓合意や本日（18日）外交ルートで申し入れた問題を含め、二国間関係を適切にマネージしていきたい旨を発言。

（了）

# 韓国による竹島周辺の我が国の排他的経済水域における我が国の同意のない海洋の科学的調査

平成29年5月  
外務省



HAE YANG 2000



AKADEMIK M. A. LAVRENTYEV



探海2



Isabu

	船名	所属
2006年7月	HAE YANG 2000	韓国国立海洋調査院
	⋮	
2016年4月	AKADEMIK M. A. LAVRENTYEV	不明 調査主体：ソウル大学
2016年6月	探海2	韓国地質資源研究院
2017年1月	Isabu	韓国海洋科学技術院
2017年5月	HAE YANG 2000	韓国国立海洋調査院

→我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。